

「わいわいおいで里ネットくらぶ」

生出市民センター

1 事業概要

「おいで里ネット」は「子どもの9年間の育ちを地域とともに支える」ことを目標に平成23年度に設立された地域団体です。市民企画講座「わいわいおいで里ネットくらぶ」は里ネットの委員を中心とした地域の大人たちが企画員となり、大人も子どもも楽しめるイベントを開催し、様々な体験を通して子どもたちの学びや育ちを支援すること、また、郷土愛を育むとともに、世代間交流の場を提供することを目的としています。

2 今年度の活動

令和4年2月27日に「フライハイ！おいで～するめ天旗たこあげ大会～」を開催予定です。里ネット委員さん、生出小中学校の先生など地域のみなさんで意見を出し合い、かつての生出の一大イベント「フライハイおいで」の縮小版を実施することにしました。仙台風の会さんに作り方を教わり、風の出来栄えと風あげの技術でコンテストを行います。より多くの子どもたちに興味を持ってもらえるよう、社会教育主事の先生が宣伝用のDVDを作成して下さいました。小中学校の給食の時間に放送し、イベントの魅力をお伝えする予定です。

令和元年度には、8月にサマーキャンプ、12月にクリスマス会を実施しています。「子どもたちが『やりたい!』と言ったものはできる限り実現してあげたい」という里ネット委員さんの熱い思いと、地域のみなさんのご協力があり、内容盛りだくさんの楽しいイベントとなりました。



3 成果と課題

令和元年から中学生企画員を募集しています。「こんなことをやってみたい!」という意見を出してもらい、実施するために必要なことを大人の企画員さんと考え、準備・運営も一緒に行いました。地域活動を担う皆さんとの世代間交流が図られ、自分たちが住む地域の素晴らしさを再確認できたと思います。また、企画員から ジュニアリーダー J L が生まれ、里ネットくらぶ以外にも活動の場を広げています。課題としては、昨年と今年はコロナ禍の影響で、中学生企画員の積極的な募集ができなかったことがあげられます。来年度はたくさんの中学生企画員に参加・活躍していただきたいと考えています。

4 今後の展望

生出地区では令和2年から、新たな住宅地の分譲が開始され、子どもがいる家庭が増えています。若い世代の方々にこの講座に携わっていただき、子どもたちの健全育成を見守る大人を増やしていきたいと考えています。生出地域には、以前から「地域全体で子どもの育ちを見守ろう」という思いが強くあります。その地域の思いと活動を、次の世代にもしっかりと繋いでいこうと思っています。